

竜峰山・竜ヶ峰 (八代市)

火の国をゆく

八代平野の東端に位置する竜峰山(517m)と竜ヶ峰(542m)。尾根続きの二つの山は高くはないが、眺めが良くて八代市街地からも近いので市民らに親しまれている。今年は辰年。壬支の竜にあやかり、登山者が増えるかもしれない。

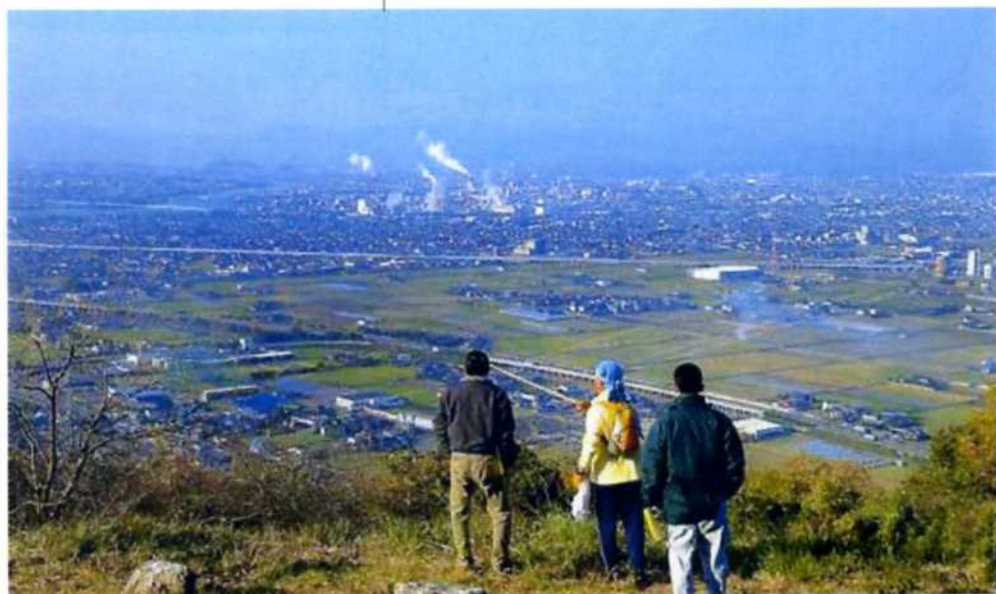
駐車場やトイレがある竜峰山の5合目登山口の広場から望む八代平野

眺望・自然
気軽に満喫

12月中旬、年間に300日は山に登るといふ「八代山の会」役員の川崎博幸さん(70)に案内してもらった。

5合目からの直登コースは階段で、足元は確かだが、歩幅と合わず歩きにくい部分も。「単調だから」と言う川崎さんに従い、少し山肌を縫うようなコースを選んだ。1時間ほどで着いた頂上は広々として公園のよう。展望台もある。

竜ヶ峰へ縦走中、開けた場所から竜峰山が見えた



八代平野や雲仙岳も

山頂に近い「竜の岩屋」にも連れて行ってくれた。20分ほどで見て回れる石灰岩の岩場。スギや広葉樹の林が多い山中とひと味違った雰囲気を楽しめるが、深い穴や亀裂、鋭い岩もあり、注意が必要だ。

下山中、ひょいと林に入った川崎さんが倒木に生えていたシイタケを採って土産にくれた。身近な自然の豊かさに驚いた。

5合目からの登頂では物足りなかったのが年が明けた今年7日、熊本市の山岳用品店「シェルパ」専務の阿南大吉さん(36)らの仲間に加わり、再チャレンジした。24~40歳の男女3人ずつで、職業もさまざま。山ガールたちは皆おしゃれな若い独身女性。登山ブームは健在だ。



ふもとの熊野座神社からの道は、なかなか急で険しく、木の幹や根をつかみながらはい上がるように登った。すぐに汗も噴き出てきたが、リーダーの千原嘉幸さん(40)は皆の様子を察して、善替えの小休止や立ち休憩などを絶妙な間合いで取ってくれた。

1時間余りで5合目に。その後は互いの近況や友人の話、恋の進み具合などおしゃべりしながら進んだ。2度目の竜峰山の頂で記念写真の後は、尾根伝いに竜ヶ峰に向かう。

に竜ヶ峰に向かう。

尾根は所どころ岩場になっているが、歩きやすい。アップダウンのある道を1時間ほどで竜ヶ峰に着き、昼食。阿南さんが準備してくれた七草うどんを頂くと、熱い汁が体に染み渡る幸福を感じた。

今回最年少の村上菜津美さん(24)は登山歴1年余り。一昨年10月にナイトハイイクで竜峰山に挑戦してから本格的に始めた。「念願の富士山登頂が昨年7月にかない、ご来光も見られました」。次は屋久島を目指すという。

竜峰山について阿南さんは「気軽に登れるから、日頃の健康づくりに良いですね」。それを実感できた新年の登山だった。

(菊地洋行)